

●4月は母子の健康月間です。



室蘭北ロータリークラブ会報

Rotary



# むらんど

2016~2017年度 国際ロータリーテーマ

ROTARY SERVING HUMANITY

「人類に奉仕するロータリー」

2016~2017年度 RI会長 ジョンF. ジャーム

2017年4月18日(火) 第2184回 例会

第2510地区 日本 (DISTRICT 2510 JAPAN) ●会長: 徳永 賢二 ●幹事: 菅原 義男 ●編集: クラブ管理運営委員会

## 本日のプログラム

### 卓話「人との繋がりで作る地域の未来」

一般社団法人登別室蘭青年会議所  
理事長 江尻 圭太 様  
クラブ管理運営委員会

本日献立 洋食ランチ (豚ヒレのシュニッツェル風、  
コンソメスープ、ピラフ、サラダ、デザート)

## 次回の予定プログラム

### 夜間例会「親睦夜間例会」

クラブ管理運営委員会

次週献立予定 和洋中8品(冷菜、刺身、エビチリ、鮭の  
ポワレオードブルフローレンス風、豚  
角煮、ローストビーフ温野菜、鮭イクラ  
丼、デザート)



## ニコニコBOX

藤井徹也(明日より東京ビッグサイトでの展示会頑  
張ってきます)  
笹谷豊明(創立記念日)  
菅原悦子(海星学院卒業生です。卓話ありがとう  
ございました)  
上田恵子(誕生記念日、創立記念日)

## 出席報告

会員数	42名	出席者数	31名
出席率	73.81%	欠席者数	11名

## 前回例会の報告

### 第2183回 (4月11日) 例会記録

#### 本日のゲスト

海星学院高等学校  
校長 堺 俊光 様(室蘭東RC)  
室蘭セーリング協会 顧問  
北海道セーリング連盟 会長 福田 さとし 様  
室蘭セーリング協会 理事長 武者 裕之 様

#### 会長報告

1. 米山記念奨学会より  
菅原義男会員に感謝状が届いておりますので、  
お渡し致します。又クラブにも「第8回米山功  
労クラブ」感謝状が届いております。回覧致し  
ます。



#### 幹事報告

1. ポリオ募金のお願い  
お一人 100 円をお願い致します。
2. ワンコインニコニコBOXご協力お願い致  
します。

#### 委員会報告

1. 社会奉仕委員会 齊藤 崇委員長  
4月4日(火)の献血例会の御礼。

## 各種記念日

- |  |       |          |       |  |
|--|-------|----------|-------|--|
|  | 誕生記念日 | 吉田 隆 会員  | 4月14日 |  |
|  | 誕生記念日 | 本間 信 会員  | 4月15日 |  |
|  | 創立記念日 | 菅原 悦子 会員 | 4月11日 |  |
|  | 創立記念日 | 西尾 静枝 会員 | 4月14日 |  |

- 例会場 ホテルサンルート室蘭
- 例会日 毎週火曜日 12:30 P.M.
- 事務所 室蘭市中島町2丁目28-6
- 電話 0143-45-6569 ●FAX 0143-50-6578
- URL <http://murokita-rc.org/>
- E-mail [mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp](mailto:mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp)



## 卓話「学校における職員の意識啓発」

海星学院高等学校 校長  
堺 俊光 様 (室蘭東RC)  
クラブ管理運営委員会

私は、これまで、教員として3校15年、道教委職員として11年、高校管理職として4校9年勤めてきました。道教委職員として、他部署との連携の取り方に苦労しました。高校管理職として、2年程度で学校を変えることの難しさに苦労しました。

私学経営に携わって感じることは、特色づくりに走り過ぎ、学校教育の本来の姿を忘れてしまっただけではないということです。学校として、地域の信頼を得るにはどうあるべきかを常に問い続けることが大切です。いわゆる目玉商品づくりのために、新システムを作る、変えることにばかり専念すると職員が右往左往するばかりです。それは、システムを生かすのは結局「人」だからです。人がシステムの意義をただしく理解し、意識を変えなければ大きな効果は得られません。何年も続いている学校を変えるには、校長がより具体的でまずは背伸びして届くような明確なビジョンを示すことから始めなければなりません。

さらに、校長のビジョンを基に職員一人一人の実現可能な単年度目標を設定させ、その目標達成のための方策を校長と協議します。年度の間及び終わりには、目標達成状況に関する自己評価を提出させ、校長と面談し客観的評価との相違を明確化し、方策や考え方の修正をします。職員との協議の際には、校長の考えを繰り返し、いわゆる「刷り込み」をします。一人一人職員の目標を全体で表明



●プロフィール  
昭和31年、木古内町生まれ。  
東洋大学文学部英米文学科卒。  
道立高校勤務後、北海道教育委員会に10年間勤務。  
平成28年4月より海星学院高等学校校長。

する機会を設ければさらに効果的です。

このように、職員一人一人の考えを把握し評価しつつも少しずつ期待値をあげていくと個人の意識啓発につながることができました。個々の意識が向上すると、自分の目標達成には、組織づくりの必要性を感じるものです。そうなれば、より効果的な組織づくりのために自発的に活動しようとする職員が増え始めます。管理職には、そのときに、職場全体を変える大きなチャンスが生まれるものです。

最近、特に、若い人には、「やってみせ 言って聞かせて させてみて 褒めてやらねば 人は動かじ」(山本五十六)ということを心がけています。

最後に、今年度、本校では、新たな取組として、進学指導の充実、留学コースの複数化、米国姉妹校からのインターン受入れ、外国人講師の増員などを計画しています。機会がありましたら是非本校にお立ち寄りください。

## 2017年度宮古市-室蘭市フェリー開航記念ヨット交流について

室蘭セーリング協会 理事長 武者 裕之 様  
顧問 福田さとし 様

### 1. 目的

平成30年6月に就航が決定した宮古⇄室蘭フェリー定期航路開設に向け、航路開設前に民間等の交流事業による宮古市と室蘭市の交流促進を盛り上げていこうとするものです。

2. ヨット、セーリングによる交流事業について  
本年(平成29年)については、宮古ジュニアを室蘭にお招きし、室蘭はもとより全道ジュニアとの交流事業を計画します。

### 3. 日程(予定)

第35回全道少年少女ヨット室蘭大会、JSAFジュニアユースセーリング・シーマンシップアカデミーに合わせて開催致します。

日程:平成29年7月29日(土)~30日(日)

JSAFジュニアユースセーリング・シーマンシップアカデミー:日本セーリング連盟が主催するジュニア~ユース層の選手とその指導者や関係者を対象に、歴代のオリンピックやナショナルチーム経験者を講師に迎え講習を

実施します。

### 4. 交流内容(案)

7月28日(金)夜 室蘭港まつり花火大会  
見学(雨天順延)

7月29日(土) JSAFジュニアアカデミー  
夜 レセプション

7月30日(日) 第35回全道少年少女ヨット  
室蘭大会兼宮古-室蘭交流レース

### 5. 費用負担等

宮古市からの旅費、室蘭市内での宿泊費、移動費、初日夜のレセプション食材提供及びB&G海洋センター利用料、エンルムマリナーファルコンの借用については、宮古市及び室蘭市の補助を予定しています。

### 6. 宿泊先

室蘭市内ホテルを予定

### 7. その他

使用艇については、室蘭市B&G海洋センター、室蘭セーリング協会及び小樽ジュニア所有のOP、シーホッパー、レーザ、オープンビックを借用いたします。